

平成16年度 本部事業計画

【基本方針】

新幹線新青森駅開業に向けての第一歩を踏み出すにあたって

わが国の経済動向を見ると、携帯電話や電気精密機械など、製造業を中心に回復のきざしが伝えられている。

しかしながら、地方財政逼迫による公共事業減少の影響を受け、地方においては設備投資や雇用指数を見ても未だ回復感はない。

こうした中、本県においては新幹線八戸駅開業の効果もあり、八戸市周辺はもとより津軽、下北をはじめ県内一円で観光客の増加が見受けられ、本市においても、ねぶた祭をはじめ浅虫温泉や三内丸山遺跡、周辺観光施設において入り込み客数が増加している。この事は単に新幹線効果というだけでなく、地元観光業界を中心に二次交通の整備、地域の特性を生かした街づくりやイベント企画を行い、観光客誘致活動を積極的に展開してきた結果と考えられる。

首都圏を中心としたアンケートによると、行ってみたい候補地として青森県が第一に上げられるなど、新幹線開通を機に青森県の魅力が広く知られるようになり、これを契機にホスピタリティーの心を養い多くの観光客を受け入れ、青森県が持っている「ゆとりやくつろぎ」、豊かな食材による味の提供など、さらにその魅力を高めることが求められている。

幸い本市には、ねぶた祭や三内丸山遺跡をはじめ日本を代表する文化資源があり文化施設も整備されているが、体験型観光の視点から、観光客や他地域の方々の、イベント、文化活動への参加による市民との接点が生まれ、交流の場拡大に繋がるよう、何時でも、誰でも青森の情報を速やかに入手する事が出来る情報提供の仕組みづくりや、市民の間に観光客を温かく受け入れ、もてなす心を育てていく仕組みづくりなど、受け入れ体制づくりが急がれる。

本年度は、「新幹線新青森駅開業に向けての第一歩を踏み出す」を旗印に、「新幹線新青森駅開業対策推進会議」との協調のもと、新幹線八戸駅開業以来続けられている努力を維持継続するに止まらず、新青森駅開業時には最大の効果を全県に及ぼすことが出来るターミナル都市機能の構築を目指すとともに、県内各界との連携連帯による諸活動の展開に向け取り組む第一歩の年としたい。

また、国がすすめるビジットジャパンキャンペーンとも連動し、二年目を迎えた韓国観光客誘致事業の強化に取り組むとともに、地域に及ぼす経済効果が非常に大きいコンベンション誘致事業については、地元各団体への働きかけを強化し、理解、浸透を図り、誘致に向けた持続的なネットワーク構築に努める。

さらに、青森市民の財産である「ねぶた祭」については、カラス族ゼロを念頭に、引き続き祭健全化に取り組むことは勿論、13年目をむかえたラッセランドの環境整備、特に老朽化した「ねぶたテント」の更新について、新幹線新青森駅開業をも見据え協議検討し方向性を定める。

国の三位一体改革の中、県、市の財政は非常に厳しい状況にあり、当協会に対する平成16年度支援も大幅に削減され、次年度以降も回復の期待は難しいことから、本市ならではの「地域の魅力づくり」に向け会員一丸となり諸事業に取り組むこととする。

【重点項目】

1. 「新幹線新青森駅開業対策推進会議」と一体となった受け入れ体制づくり
2. 青森観光コンベンション協会事業の理解醸成活動の展開
3. 地域の魅力として「七子八珍」のメニューづくり推進・取扱店の拡大
4. 「青森ねぶた祭」観光客受け入れ体制の強化とねぶたテント老朽化対策の検討
5. 「青森ねぶた」重要無形民俗文化財指定25周年功労者表彰の実施
6. コンベンション誘致事業地元ネットワークの構築
7. 韓国観光客誘致事業の推進と外国人向け案内標識の普及整備

【実施事業】

1) 観光客誘致事業

定期航空路線で結ばれた地域において観光キャンペーンを展開し、冬季観光をはじめとするPRを行い、観光客誘致に努める。平成16年度は福岡市で実施する。東北新幹線八戸駅開業による観光客誘致を図ると共に、新幹線新青森駅開業に向けて観光キャンペーンを展開する。平成16年度は首都圏(埼玉県、千葉県など)で実施する。

首都圏・仙台地区・韓国の旅行出版部門、旅行雑誌等出版社、観光関連マスコミの編集者並びに記者を招聘し、青森市の情報を提供して積極的な報道を要請する。

2) 韓国観光客誘致事業

県内の各観光関係機関と協力しながら、青森市への宿泊客誘客を図る。

韓国観光客の観光案内業務の検討と外国人向け案内標識の普及整備。

3) コンベンション誘致事業

県内・市内の各団体に対して、コンベンション開催需要の調査を行うと共に地元開催に向けて働きかけを行う。

その結果に基づき首都圏、仙台市等において、積極的なコンベンション誘致セールス活動を展開する。

コンベンション主催者とコンベンション開催支援団体との懇談会を開催し、コンベンション誘致に向けた共通意識の醸成並びにネットワークの構築を目指す。

仙台市、首都圏「あおもり応援隊」の巡回訪問を強化し、誘致PR並びに情報収集の強化を図る。

4) 魅力創出事業

青森市の魅力づくりの重要な素材である「食」について、「七子八珍」のメニューづくり推進と取扱店拡大を図る。

観光客・コンベンション参加者にアンケート調査を行い、その結果を青森市の観光素材の新規掘り起こしなど今後の事業実施の為の基礎資料とする。

先進地である各地を訪問して、各種課題について調査し、今後の事業推進の検討材料とする。

5) 広報宣伝・情報提供事業

観光・コンベンション用各種パンフレット、リーフレット並びに特典付きパンフレット、飲食店街情報などを制作・配布し、広報PRと情報提供の強化を図る。観光案内ホームページの内容充実を図り最新情報を提供する。

6) 受け入れ体制ならびに案内サービス機能の強化

旅行業の資格を取得し青森駅前観光案内所の宿泊案内サービス業務を強化する。外国人観光客に対する案内情報の充実に努める。

「接客マナー向上セミナー」を開催し、サービス向上に向けた指導を実施する。コンベンション主催者に対し観光パンフレットの提供、歓迎看板の提供、コングレスバッグの提供、資料の封入サービス、開催相談の受付などの大会支援を積極的に行う。

7) ねぶた祭の諸施策の推進

祭健全化について、改善策を協議しながら、さらなる啓蒙活動に努め、カラス族の一掃について関係者一丸となって取り組む。

観光客受け入れ環境の向上を目指し、トイレ・ゴミ対策、観光バス対策、各種誘導案内看板、観光案内機能の強化等について検討実施する。

ホームページに加え、携帯電話を活用した、解り易いねぶた祭情報の提供に取り組む。

13年目を迎えたラッセランドの環境整備、特に「ねぶたテント」の老朽化対策について協議する。

「青森ねぶた」重要無形民俗文化財指定25周年功労者表彰の実施

8) 青森の四季を活用した観光イベントの検討並びに推進

イベント委員会を中心に魅力あるイベント創出を目指す。

中心市街地への会場移転3年目にあたる「青森冬まつり」の内容充実に努め、冬季誘客イベントとしての定着を目指す。

「八甲田ウォーク」の魅力拡大策について協議し、青森県春の観光幕開けイベントとして全国にPRし浸透を図る。

9) 組織強化対策の展開

青森観光コンベンション協会事業の理解醸成活動に努め、財政基盤確立のための会員増強を組織一丸となり取り組む。

組織安定のための自主財源確保に努める。